



さいたま新都心に一番近い学校

下落合小だより

学校目標 よく考える子 思いやりのある子 明るく元気な子

令和 7 年 7 月 号
令和 7 年 6 月 3 0 日
さいたま市立下落合小学校
電話 852-2280
FAX 852-0188
E-Mail
shimoochiai-e@saitama-city.ed.jp

“交流”と“体験”を通した 豊かな学び

校長 小田切 倫子

今年は、6月から真夏を思わせる暑さとなりました。学校では引き続き熱中症に気を付けながら、元気に1学期を締めくくることができるようにしてまいりたいと思います。

さて、1学期に登校するの残すところあと14日となりました。子どもたちは、日々たくさんのことを吸収し、大きく成長しています。私は、“あたたかな交流”や“リアルな体験”は子どもの成長に欠かせないものであると考えています。コロナ禍でこれらのことを制限された時期を経験してからは、なおさら強く感じています。本校では、今年度より、カリキュラム・マネジメントとして「**地域の一員としての自覚を高め 地域に目を向け 地域貢献できる人へと成長する**」というストーリーを掲げて教育活動を展開しておりますが、その一環として総合的な学習の時間の改訂を行い、交流や体験の充実を図っています。

3年生では、自分たちの住む新都心の町の魅力について探求を深める単元を設定し、その導入として、パブリックアートについて調べています。イベント「さいたま新都心のパブリックアートを洗おう!」を中心的に立ち上げた、地域にお住まいの鈴木知佐子様をゲストティーチャーとしてお招きし、お話を伺いました。体育館の大きなスクリーンに、お馴染みのステンレス巨大彫刻トカゲが映し出されると「知ってる!知ってる!」の大合唱。このトカゲもパブリックアートの一つであり、なんとオーストラリアにも同じ作家さんのトカゲがいると知りビックリ!その後も見覚えのあるアート作品が次々と映し出され、どんな作家さんが、何の材料でどのように作ったかななどを教えていただきました。莫大な手間をかけて出来上がった作品や、今では大先輩となっている、当時の下落合小学校の児童も関わった作品があることを知るなど、子どもたちは鈴木さんのお話にどんどん引き込まれていきました。鈴木さんのお話はメモを取りながら聞いていたのですが、授業終了後、担任がそのメモは次の学習で使うので学校に置いて帰るよう指示したのに対して、「今日のお話をお家の人に教えたいから、このメモを持って帰りたい!」と申し出た児童がいたそうです。このことから、子どもたちの学びが生き生きとしたものであったことが伝わってきます。鈴木さんがお話してくださったことは、タブレットを使ってインターネットでも調べられることでしょうか。しかし、パブリックアートを大切に思っている鈴木さんから直接お話を伺ったからこそ、その思いも受け取り、次へつながる充実した学びとなりました。子どもたちはそれぞれ興味をもったパブリックアートを選んで調べ学習を進め、この後、「さいたま新都心ふれあいプラザ」様の御協力を得て、実際にアートを見学する活動を行う予定となっています。

4年生では、福祉の視点から単元を設定し、障害者の方との交流や車いすなどの体験活動を行いました。盲導犬と暮らす水出智津様は、挫折を乗り越え、練習を重ねて少しずつ上達していった点字の絵本を使っの読み聞かせや華麗な包丁さばきを目の前で見せてくださいました。また、車いすバスケットボールチーム「埼玉ライオンズ」の望月悠生選手、植田紘公選手は、ボールを取られないよう車いすを回転させたり、車いす同士を激しくぶつかり合わせたりといったスピードと迫力のあるプレイを披露してくださいました。望月選手の「人にはそれぞれ出来ないことや苦手なことがあります、自分はたまたま“足”という見える部分にあるだけで、それ以外はみんなと同じ」という言葉が印象的でした。また、植田選手がプレイ中に車いすごと転んだ際、「転んでも自分で起き上がらなくてはならない」と話していた言葉が心に刺さり、このことを授業終了後に植田選手にお伝えしたところ、「そうなんです。『転んでかわいそう』とか、そういう風に思う人が、最近やっとな減ったと感じているんです。」と答えてくださった言葉からも、たくさんの学びを受け取りました。4年生も「さいたま新都心ふれあいプラザ」様の御協力を得て、新都心駅近くで白杖・車いす体験がカリキュラムに組み込まれており、残り2クラスが活動を行います。4年生もまた、交流と体験があったからこそ豊かな学びとなっています。

これらの豊かな学びは、全て地域の方や保護者の方のお取り計らいや御協力により実現しており、感謝の気持ちでいっぱいです。そして、この1学期の学習活動について、紹介した以外にもたくさんの御支援を頂戴しましたことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

夏休みも、交流や体験を通してたくさんのことを吸収して欲しいと願っています。よい夏休みを!